

☆☆☆コロナとわたしたち②☆☆☆

2020年9月

ねん がつ
あおつか とおる
青塚 徹

じどう
児童のみなさんへ

がっこうせいかつ
学校生活を「かくじつに続けていくためのコツその6」をお伝えします。

かくじつに続けていくためのコツその6・・・差別をなくす

☆**コロナウイルスに感染することは、悪いことでしょうか？**

ちがいます。悪いことではありません。どんなに気をつけていても、感染してしまうことがあります。だから、感染した人や、家族が感染した人を責めてはいけません。悪いのはコロナウイルスそのものです。

☆**ウイルスに感染した人を責めたり、ウイルスに感染しやすい仕事をしている人や、その家族を特別あつかいすることを、なんと言いますか？**

差別（さべつ）と言います。いじめと同じです。

☆**差別はどうしておきるんですか？**

わたしたちは、自分たちとちがっている人や、弱い立場にいる人たちを、差別することを、ときどきしてしまいます。自分が同じように差別されたとき、苦しいだろうと想像する力や、正しいことをする勇気が、わたしたちにはないからです。

☆**差別をへらすにはどうしたらいいですか？**

自分も感染して、責められたときのことを、想像してみるのがだいじです。自分が差別されたらどうだろうかと想像してみるのです。そうすれば、差別は恐ろしいことだと気がついて、弱い立場の人たちへの差別は、少しへるかもしれません。

